

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月30日

上場会社名 株式会社エイチワン 上場取引所 東
 コード番号 5989 URL http://www.h1-co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金田 敦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 伊藤 宣義 (TEL) 048-643-0010
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月7日 配当支払開始予定日 平成25年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	88,167	29.9	2,461	△23.1	2,550	△19.0	1,504	△32.4
25年3月期第2四半期	67,888	52.9	3,203	—	3,147	—	2,226	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 5,149百万円(580.8%) 25年3月期第2四半期 756百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	61.67	—
25年3月期第2四半期	89.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	135,153	54,697	35.1	1,946.07
25年3月期	121,979	49,974	35.3	1,766.03

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 47,468百万円 25年3月期 43,077百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
26年3月期	—	11.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	176,000	27.5	6,300	12.6	6,500	15.6	4,000	△21.3	163.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

26年3月期2Q	25,750,830株	25年3月期	25,750,830株
26年3月期2Q	1,358,921株	25年3月期	1,358,730株
26年3月期2Q	24,392,016株	25年3月期2Q	24,754,522株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経済環境は、日本では金融財政政策や円高修正により企業活動が持ち直し、設備投資の増加や雇用、消費の改善を通じて景気が回復基調にあります。米国では生産活動が緩やかに拡大する中、雇用や住宅販売も改善しており、欧州経済も改善基調にあります。中国では経済成長の減速に加え、地方政府のオフバランス債務が将来の景気リスクとして懸念されてきております。

自動車業界においては、日本の自動車販売は購入補助制度で底上げされた前年同四半期を下回りましたが、北米では自動車販売の増加が継続しており、中国では日系自動車メーカーの販売減少は春に底を打ち、同国市場の拡大が続く中、販売シェアも9月までに日中関係の影響を受ける前の水準近くまで回復してきました。

このような中、当社グループは、第3次中期事業計画の経営方針である「現場に根ざした活動を通じ、品質、コスト、環境に優れた商品で世界No.1メーカーを目指す」に沿ってこれまでに培った技術力やグローバル展開を活かし、取引先開拓をはじめとした受注拡大に努めており、当第2四半期においては、インドネシア共和国に鋳物素材から金型製作までを一貫して行うPT. H-ONE KOGI PRIMA AUTO TECHNOLOGIES INDONESIAを設立することを決定し、今後、競争力ある金型及び金型鋳物を、需要増加が見込まれるインドネシア国内をはじめグローバルに供給していくことを計画しております。

以上を受けた、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は自動車フレームの生産が北米及びアジア・大洋州地域において増加したことに加え、為替換算上の影響があり881億67百万円(前年同四半期比29.9%増)となりました。利益面では、北米やアジア・大洋州地域の増収効果の一方で、日本及び中国での生産減少の影響があり、営業利益は24億61百万円(同23.1%減)、経常利益は25億50百万円(同19.0%減)となりました。また、法人税等や少数株主利益の増加もあり、四半期純利益は15億4百万円(同32.4%減)となりました。

セグメントの業績につきましては次のとおりであります。

①日本

自動車購入補助制度のあった前年同四半期に比べ、当四半期は自動車フレームの生産が低調に推移したことから売上高は247億1百万円(前年同四半期比4.9%減)となり、新型車の生産準備コストもあって経常利益は2億62百万円(同81.8%減)となりました。

②欧州・北米

主力得意先の生産台数の増加や為替換算上の影響により売上高は429億40百万円(前年同四半期比38.9%増)となり、これに生産性改善の効果が加わって経常利益は7億52百万円(同97.7%増)となりました。

③中国

日中関係の影響による期初の日系自動車販売の落ち込みにより、第2四半期連結累計期間における自動車フレームの生産は前年同四半期の水準を下回ったものの、人民元に対して円安が進んだことが為替換算上でプラスとなり、売上高は138億69百万円(前年同四半期比8.4%増)、経常利益は13億99百万円(同7.0%減)となりました。

④アジア・大洋州

主力得意先の生産台数の増加により売上高は120億46百万円(前年同四半期比202.4%増)、経常利益は2億48百万円(前年同四半期は経常損失78百万円)となりました。

なお、従来、連結子会社のエイチワン・パーツ(タイランド)カンパニー・リミテッドの決算日は12月31日でしたが、同社は当事業年度より決算日を3月31日に変更しております。これによりセグメント情報において同社の経営成績は、前第2四半期連結累計期間は前年1月から6月までを、当第2四半期連結累計期間は当年4月から9月までを使用しております。

(2) 連結財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における連結財政状態は、たな卸資産が減少した一方で受取手形及び売掛金が増加したことなどにより流動資産合計が増加しました。また、有形固定資産を新たに取得したことなどにより固定資産合計が増加し、これらの結果、資産合計は1,351億53百万円(前連結会計年度末比131億74百万円増)となりました。

負債合計は、支払手形及び買掛金、長期借入金などが増加したことなどにより804億56百万円(前連結会計年度末比84億51百万円増)となりました。

純資産合計は、利益剰余金やその他有価証券評価差額金の増加、為替相場の円安によって為替換算調整勘定がプラスに転じたことなどにより546億97百万円(前連結会計年度比47億23百万円増)となりました。自己資本比率は35.1%(前連結会計年度比0.2ポイントのマイナス)となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、税金等調整前四半期純利益、減価償却費、たな卸資産の減少、仕入債務の増加、長期借入れによる収入等の資金の増加がありましたが、売上債権の増加、有形固定資産の取得による支出や短期借入金の減少等の資金の減少によって51億12百万円(前年同四半期比10億51百万円減)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、売上債権が増加したものの、税金等調整前四半期純利益、減価償却費、たな卸資産の減少、仕入債務の増加などにより前年同四半期と比べ86億88百万円(240.0%)増加の123億8百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、有形固定資産の取得による支出などにより、前年同四半期と比べ58億10百万円(79.4%)増加の131億26百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、短期借入金の減少などにより前年同四半期と比べ20億81百万円(82.0%)減少の4億57百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の自動車業界の見通しにつきましては、日本では景気回復に伴う個人消費の拡大に加え、新型車効果や消費税率上げを見込んだ駆け込み需要が想定されます。北米では、金融緩和政策は出口を目指すものの、これの個人消費への影響は限定的と想定され人口増加と相まって自動車販売は今後も拡大基調をたどるものと思われれます。中国では、高位安定の経済成長のもと需要の裾野拡大により同国内での自動車生産は今後更に増加していくことが見込まれ、その他の新興国でも自動車需要は拡大していくものと想定しております。

そのような中で、平成26年3月期の通期連結業績予想につきましては、為替レート的前提をUSドルについては従来の1ドル=90円から新たに1ドル=95円に、また、各通貨についても総じて円安方向に見直しており、これにより連結売上高は従来の計画に比べ増加する見通しであります。利益面では、中国では生産コストの削減効果を新たに見込む一方で日本及び北米などでは製造原価が従来より増加する見込みとなり、営業利益は従来の計画をやや下回る見通しとなりました。また、営業外損益について為替差損益などを見直し、経常利益は従来の計画をやや上回る見通しであります。

これらを受けて、通期連結業績予想を次のとおり修正いたしました。

平成26年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	160,000	6,500	6,300	3,900	159.89
今回修正予想 (B)	176,000	6,300	6,500	4,000	163.99
増減額(B-A)	16,000	△200	200	100	—
増減率(%)	10.0	△3.1	3.2	2.6	—
(ご参考) 前期実績 (平成25年3月期)	138,042	5,595	5,624	5,081	206.77

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,211	5,122
受取手形及び売掛金	19,826	24,220
たな卸資産	14,465	12,349
繰延税金資産	1,032	1,020
その他	3,777	2,864
流動資産合計	44,314	45,578
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,089	17,614
機械装置及び運搬具(純額)	24,419	25,741
工具、器具及び備品(純額)	9,604	12,765
土地	7,575	7,579
建設仮勘定	9,685	17,174
有形固定資産合計	68,374	80,875
無形固定資産		
ソフトウェア	138	164
その他	15	16
無形固定資産合計	153	180
投資その他の資産		
投資有価証券	7,444	6,686
長期貸付金	747	754
繰延税金資産	659	720
その他	699	782
貸倒引当金	△415	△424
投資その他の資産合計	9,135	8,519
固定資産合計	77,664	89,575
資産合計	121,979	135,153

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,110	21,301
短期借入金	18,136	17,785
1年内償還予定の社債	300	200
1年内返済予定の長期借入金	7,292	7,306
未払金	4,041	4,029
未払法人税等	1,217	1,492
賞与引当金	1,176	1,109
設備関係支払手形	928	1,495
その他	3,268	4,139
流動負債合計	53,472	58,858
固定負債		
社債	100	50
長期借入金	13,238	16,077
繰延税金負債	734	854
退職給付引当金	3,544	3,774
役員退職慰労引当金	272	215
債務保証損失引当金	357	395
その他	284	229
固定負債合計	18,532	21,597
負債合計	72,004	80,456
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,240	3,240
資本剰余金	12,237	12,237
利益剰余金	30,328	31,615
自己株式	△1,062	△1,063
株主資本合計	44,743	46,030
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	988	1,120
為替換算調整勘定	△2,654	317
その他の包括利益累計額合計	△1,666	1,438
少数株主持分	6,897	7,229
純資産合計	49,974	54,697
負債純資産合計	121,979	135,153

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	67,888	88,167
売上原価	59,369	79,494
売上総利益	8,519	8,673
販売費及び一般管理費	5,316	6,211
営業利益	3,203	2,461
営業外収益		
受取利息及び配当金	64	71
為替差益	20	114
その他	191	308
営業外収益合計	276	494
営業外費用		
支払利息	297	328
その他	34	77
営業外費用合計	331	406
経常利益	3,147	2,550
特別利益		
固定資産売却益	8	14
受取保険金	932	293
特別利益合計	941	308
特別損失		
固定資産廃棄損	31	20
固定資産売却損	2	0
投資有価証券売却損	—	97
災害による損失	1,054	—
その他	—	0
特別損失合計	1,087	119
税金等調整前四半期純利益	3,001	2,738
法人税等	717	969
少数株主損益調整前四半期純利益	2,283	1,768
少数株主利益	57	264
四半期純利益	2,226	1,504

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,283	1,768
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△588	132
為替換算調整勘定	△938	3,248
その他の包括利益合計	△1,527	3,380
四半期包括利益	756	5,149
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	935	4,608
少数株主に係る四半期包括利益	△179	540

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,001	2,738
減価償却費	3,774	5,540
賞与引当金の増減額(△は減少)	2	△75
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△78	△56
退職給付引当金の増減額(△は減少)	47	195
受取利息及び受取配当金	△64	△71
支払利息	297	328
固定資産売却損益(△は益)	△6	△13
投資有価証券売却損益(△は益)	—	97
受取保険金	△932	△293
固定資産廃棄損	31	20
災害による損失	1,054	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△18	—
売上債権の増減額(△は増加)	811	△3,066
たな卸資産の増減額(△は増加)	△979	2,788
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,030	2,992
その他	2,117	1,746
小計	4,026	12,872
利息及び配当金の受取額	64	71
利息の支払額	△295	△333
保険金の受取額	932	293
災害損失の支払額	△407	—
法人税等の支払額	△700	△596
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,619	12,308
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	—	30
有形固定資産の取得による支出	△7,320	△14,145
有形固定資産の売却による収入	47	32
無形固定資産の取得による支出	△23	△43
投資有価証券の取得による支出	△22	△24
投資有価証券の売却による収入	—	1,038
その他	3	△14
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,316	△13,126
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,165	△1,305
長期借入れによる収入	6,486	6,894
長期借入金の返済による支出	△5,744	△4,513
社債の償還による支出	△150	△150
自己株式の取得による支出	△1,025	△0
配当金の支払額	△192	△243
少数株主への配当金の支払額	—	△224
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,538	457
現金及び現金同等物に係る換算差額	49	195
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,108	△165
現金及び現金同等物の期首残高	7,272	5,171
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	106
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,164	5,112

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

当社は平成24年5月21日開催の取締役会において会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に関する事項について決議しました。これを受け、大阪証券取引所のJ-NET市場における買付けにより平成24年5月22日に普通株式1,300,000株、10億25百万円の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が10億62百万円となっております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	欧州・ 北米	中国	アジア・ 大洋州	合計		
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	20,422	30,898	12,649	3,916	67,888	—	67,888
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,540	15	139	66	5,761	△5,761	—
計	25,963	30,914	12,788	3,983	73,650	△5,761	67,888
セグメント利益又は損失(△) (経常利益又は損失(△))	1,442	380	1,504	△78	3,249	△101	3,147

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△101百万円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行なっております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	欧州・ 北米	中国	アジア・ 大洋州	合計		
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	19,553	42,931	13,697	11,984	88,167	—	88,167
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,147	9	171	61	5,390	△5,390	—
計	24,701	42,940	13,869	12,046	93,558	△5,390	88,167
セグメント利益(経常利益)	262	752	1,399	248	2,663	△112	2,550

(注) 1 セグメント利益の調整額△112百万円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行なっております。